

学校だより 校訓 《やさしく かしく たくましく》



きむ清らっ子

教育目標 「ひとみ輝く、喜念心清らっ子を育てる」

令和5年6月28日発行

第3号

伊仙町立喜念小学校

伊仙町喜念1番地
TEL 86-2182

注目! 「児童の記事」運動会!

【記事作成者…6年 元田 花南】

6/3(土)に、運動会がありました。今年の運動会は、体育館で行う運動会です。わたしたちは何度も練習を重ねてきました。結果は、赤組の優勝でしたが、わたしは、赤組も白組もどっちもがんばりたい運動会ができたと思いました。今年は、3年ぶりに、地域の方々も見に来てくださいました。地域の方々前で運動会ができてよかったですと思いました。



体育館開催という初めての試みでしたが、子供たちが精一杯の競技・演技を見せてくれました。笑顔あふれる素晴らしい運動会だったと感じています。応援に来てくださった皆様、本当にありがとうございました。



面縄中学校の先生方が来校!

6/15(水)に、教職員の研修の一環で、面縄中学校から2名の先生方が、喜念小学校での交流に来校されました。2名の先生方には、授業を参観していただいたり、一緒に給食を食べたり、そして、5・6年生に対しては特別授業を行っていただいたりしました。6年生にとっては、来年4月からの中学校進学に向けて、貴重な体験の機会となりました。特別授業、ありがとうございました!!



不審者対応防犯訓練

今回も、「行ってきますと言って家を出たら、必ず、ただいまと言って帰らなければいけない。」と、子供たちに伝えました。また、万一来てたら、防犯ブザーの所持についても子供たちに伝えました。子供たちの安心・安全の確保に向けて、繰り返し伝えていきます。



不審者(役)から逃げて → 子ども110番の家へ

ネットを介した犯罪から子供たちを守る

校長 平山 啓

過日、生徒指導の会がありました。この中で、警察署の方から、実際に担当として関わった「ネットを介した性被害事件」についてのお話がありました。この事件の加害者は、捜査により逮捕されたとのことですが、被害を受けた方は大きな心の傷を負い、今も悩み続けているそうです。

SNS利用等のネットを介した犯罪は、現代における大きな課題の一つです。特に、性に係る犯罪は、被害者の人生を左右してしまうものです。子供たちを守るために、いったい我々には何ができるのでしょうか。

学校では、ネットモラルやネット利用上の危険性等について、子供たちが正しい知識をもって、正しく行動できるように、発達の段階に応じながら指導を繰り返しています。「知識を伝えること」「呼びかけること」は、学校ができることです。

では、家庭では何ができるのでしょうか。

- 機器の所持が子供にとって必要なものかどうか、十分に検討する。
- 機器をもたせるのであれば、その危険性と正しい使い方を指導する。また、必ずフィルタリングを設定する。
- 機器の使用についてのルールを定め、使用状況を確認する。

このようなことを行っていく必要があるように思います。特に、「機器の所持」「ルール設定と使用状況の確認」「フィルタリングの設定」などは、学校で行えることではありません。家庭の責任として行っていかなければならない部分です。

上述の事件は、決して他人事ではありません。誰にでも起こりうることです。真剣な思いをもって取り組まなければ、悲しい事件が繰り返されかねません。